

近畿厚生局長 殿

開設者名 大阪府守口市文園町10番
学校法人 関西医科大学
理事長 山下 敏

印

関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	83 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

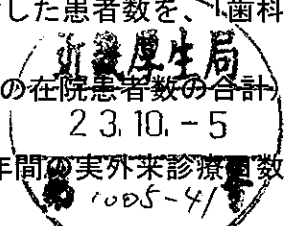
職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	271 人	65 人	283.1 人	看護補助者	16 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	9 人	臨床検査技師	63 人
薬 剤 師	48 人	0 人	48.0 人	作業療法士	4 人	臨床検査衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	7 人	その他	人
助 産 師	37 人	0 人	37.0 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧	1 人
看 護 師	755 人	33 人	777.7 人	臨床工学技士	12 人	医療社会事業従事者	4 人
准看護師	1 人	0 人	1.0 人	栄 養 士	人	その他の技術員	26 人
歯科衛生士	人	人	人	歯 科 技 工 士	人	事 務 職 員	63 人
管理栄養士	5 人	6 人	5.8 人	診療放射線技師	35 人	その他の職員	1 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	623.6 人	0.0 人	623.6 人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	1,750.6 人	0.0 人	1,750.6 人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数			757.00 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1)「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的骨形成術(有痛性骨腫瘍)	0人
CT透視ガイド下経皮的骨腫瘍ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍(既存の治療法により制御不良なものに限る。)又は類骨腫(診断が確定したものに限る。))	0人
経皮的腎がんラジオ波焼灼療法(原発性又は転移性腎がん(切除が困難なものに限る。))	0人
経皮的肺がんラジオ波焼灼療法(原発性又は転移性肺がん(切除が困難なものに限る。))	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	67人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	1人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	15人	・原発性胆汁性肝硬変	114人
・全身性エリテマトーデス	193人	・重症急性膵炎	14人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・再生不良性貧血	40人	・混合性結合組織病	26人
・サルコイドーシス	92人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	0人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	148人	・網膜色素変性症	84人
・特発性血小板減少性紫斑病	140人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	21人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	168人	・神経線維腫症	38人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	27人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	5人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	71人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	6人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	63人	・球脊髄性筋委縮症	0人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・アミロイドーシス	8人	・肥大型心筋症	61人
・後縦靭帯骨化症	16人	・拘束型心筋症	1人
・ハンチントン病	0人	・ミトコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	0人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22人	・黄色靭帯骨化症	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	15人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部:月4～5回程度 病理部:月3～4回程度
部 検 の 状 況	剖検症例数 37 例 / 剖検率 5.20%

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
左室拡張能と炎症反応性蛋白による心房細動、脳梗塞の予測と予後に関する検討	宮坂 陽子	第二内科	100,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
造影剤腎症の早期診断バイオマーカーの検討	真鍋 憲市	第二内科	600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
癌幹細胞ニッチの検索	金田 浩由紀	胸部心臓血管外科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
家兔肋軟骨を用いた移植肋軟骨の彎曲変形に関する実験的研究	竹本 剛司	形成外科	500,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
サルコイドーシスにおける $\gamma\delta$ T細胞の異常と病因病態への関与	植田 郁子	皮膚科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
難聴動物への内耳再生と機能回復	泉川 雅彦	耳鼻咽喉科	400,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
4点連結式経皮的管腔臓器バイパス術の開発	八木 理絵	放射線科	500,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
CT透視下インターベンション時に術者の被曝を低減するシールドの開発	中谷 幸	放射線科	600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
中枢神経系における内因性ジギタリスを介した高血圧発症メカニズムの解明	吉賀 正亨	臨床検査医学	1,700,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
Th2細胞におけるBam32の発現及びBam32依存性TCR Signalの解析	宮地 理彦	第一内科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎および硬化性胆管炎における発症機序と進展に関する免疫学的研究	岡崎 和一	第三内科	700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性疼痛の診断・治療指標候補の一酸化窒素の神経可塑性変化における活性化機構	阿部 哲也	心療内科	800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
機能性身体症候群における精神生理学的評価と心理的評価を用いた病態の検討	神原 憲治	心療内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
モデルマウスを用いた遺伝性腎炎に対する画期的腎再生法の研究	金子 一成	小児科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ファイブロネクチンを用いた多剤耐性緑膿菌制御の検討	権 雅憲	外科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
腹腔鏡手術における鉗子先端作用力計測と剥離技術分析に関する研究	松田 公志	泌尿器科	3,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢黄斑変性における網膜色素上皮細胞の小胞体ストレスの関与の解明と治療法への応用	高橋 寛二	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロバブル化炭酸ガスを用いた超短時間型塞栓剤の開発	澤田 敏	放射線科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
標識アネキシンVを用いた放射線誘導アポトーシスとFDG腫瘍糖代謝能の基礎的検討	河 相吉	放射線科	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性疼痛を有する脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術の除痛機序の実験的解明	谷川 昇	放射線科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロバブルジェネレータカテーテルを用いた高密度炭酸ガスマイクロバブル血管造影	狩谷秀治	放射線科	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内因性ジギタリスの構造解析とその電解質・血圧調節に占める役割の解明	高橋 伯夫	臨床検査医学科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血中S100A12タンパク質の動脈硬化および心血管イベントへの関与に関する研究	小崎 篤志	総合診療科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法:基礎から臨床へ	森 眞一郎	第一内科	1,000,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	岡崎 和一	第三内科	4,500,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
新規疾患、IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	岡崎 和一	第三内科	700,000	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
難治性瘵疾患に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,500,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
「重症クローン病患者に対するタクロリムス治療」に向けての臨床試験の実施に関する研究	岡崎 和一	第三内科	3,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究	岡崎 和一	第三内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究	福永 幹彦	心療内科	700,000	補 委 厚生労働省 精神・神経疾患研究 委託費
外胚葉形成不全免疫不全症の実態調査と治療ガイドラインの作成	蓮井 正史	小児科	1,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発	里井 壯平	外科	800,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	稲垣 隆介	脳神経外科	600,000	補 委 厚生労働省 精神・神経疾患研究 委託費
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	松田 公志	泌尿器科	500,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	高橋 寛二	眼科	3,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
血管新生黄斑症に対するペプチドワクチン療法	高橋 寛二	眼科	3,300,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
顕微鏡感覚で使え、安心・安全を提供する手術用立体内視鏡システムの試作開発と臨床応用	友田 幸一	耳鼻咽喉科	3,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその原因別の対策に関する研究	木村 穰	健康科学科	1,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金

小計
13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
保健指導を中心とした地域における脳卒中及び心筋梗塞の再発予防システムとエビデンス構築に関する研究	木村 穰	健康科学科	2,000,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究	友田 幸一	耳鼻咽喉科	1,249,000	補 委 文部科学省 橋渡し研究支援推進プログラムスーパー特区研究
接着制御シグナルの破綻と自己免疫疾患	岡崎 和一	第三内科	32,200,000	補 委 (独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業
TS-1補助療法後再発胃癌に対するTS-1+CDDP療法の妥当性に関する基礎研究	井上 健太郎	外科	2,000,000	補 委 (財)藤井節郎記念 大阪基礎医学症例会 平成22年度研究助成金
地域連携パスおよび、ICT在宅健康管理システムによる心臓リハビリテーション効果の研究	木村 穰	健康科学科	2,000,000	補 委 公益財団法人 福田医療技術振興財団平成22年度研究助成金
Stage III (Dukes' C) 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのカベタピンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	岩本 慈能	外科	320,000	補 委 (財)がん集学的治療研究財団研究助成金
高血圧発症機序における新規内因性ジギタリスの臨床検査医学的研究	吉賀 正亨	臨床検査医学科	500,000	補 委 日本臨床検査医学会 学術推進プロジェクト 研究助成金
大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯(DKT:TJ-100)の臨床的効果(プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)	岩本 慈能	外科	370,000	補 委 (財)がん集学的治療研究財団研究助成金
				補 委

小計
8

合計
47

OK

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of atherosclerosis and thrombosis 17(4):342-349	Plasma level of platelet-derived microparticles is associated with coronary heart disease risk score in healthy men.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
Journal of thrombosis and thrombolysis 29(4):471-476	Soluble TRAIL prevents RANTES-dependent restenosis after percutaneous coronary intervention in patients with coronary artery disease	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
治療学 44(6):671-675	臨床における活性化血小板検出法	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科
診療と新薬 47(6):596-601	ロキソプロフェンナトリウム水和物含有貼付剤(ロキソニンテープ)の使用感に関する患者調査-関節リウマチ患者に対するアンケートによる検討-	尾崎 吉郎	血液呼吸器膠原病内科
臨床リウマチ 22(2):236-242	長期休薬の後に発症したプロピルチオウラシル誘発性ANCA関連血管炎の一例	尾崎 吉郎	血液呼吸器膠原病内科
Biochemical and biophysical research communications 397(4):756-761	Conservation of a chemokine system, XCR1 and its ligand, XCL1, between human and mice.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
日本検査血液学会雑誌 11(2):234-241	DICの新しい治療法:造血管腫瘍に伴うDICに対するトロンボモジュリンの治療効果	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科
Clinical immunology 136(2):205-216	Thymic stromal lymphopoietin plays an adjuvant role in BCG-mediated CD8(+) cytotoxic T cell responses through dendritic cell activation.	Yokoi T	血液呼吸器膠原病内科
Clinical Rheumatology 22,3:298-304	Successful treatment of a refractory case of systemic lupus erythematosus with tacrolimus and mycophenolate mofetil.	Ozaki Y	血液呼吸器膠原病内科
Angiology Frontier 9(3):263-271	マイクロパーティクルとDIC	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科
臨床リウマチ 22(3):298-304	タクロリムスとミコフェノール酸モフェテルの併用療法が奏功した多剤抵抗性の全身性エリテマトーデスの一例	尾崎 吉郎	血液呼吸器膠原病内科
Arthritis research & therapy 12(3) Article No.R83	Inhibitor of I kappaB kinase activity, BAY 11-7082, interferes with interferon regulatory factor 7 nuclear translocation and type I interferon production by plasmacytoid dendritic cells.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
Leukemia & lymphoma 52(1):150-152	Senescence induction therapy for the treatment of adult T-cell leukemia.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
Immunology 132(2):165-173	Interferon- α and interleukin-12 are induced, respectively, by double-stranded DNA and single-stranded RNA in human myeloid dendritic cells.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
日本血栓止血学会誌 22(1):24-32	血球由来マイクロパーティクルと血管病変	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科
日本検査血液学会雑誌 12(1):85-90	リコモジュリンを用いたDICの新しい治療戦略-造血管腫瘍の臨床から-	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Platelets Mar26.[Epub ahead of print]	The correlation between platelet activation markers and HMGB1 in patients with disseminated intravascular coagulation and hematologic malignancy.	Nomura S	血液呼吸器膠原病内科
Cytometry Research 21(1):71-84	フローサイトメトリーによるマイクロパーティクル計測の標準化に関する検討	野村 昌作	血液呼吸器膠原病内科
日本甲状腺学会雑誌 1(1):51-52	ステロイドパルス療法後に片側性より両眼性に移行したバセドウ病眼症の一例	原田 梓	循環器腎内分泌内科
Hypertension research 33(6):633-637	Efficacy of clonidine in patients with essential hypertension with neurovascular contact of the rostral ventrolateral medulla.	Sakuma T	循環器腎内分泌内科
Integrated Blood Pressure Control 3:73-79	Critical appraisal and pooled analysis of Telmisartan alone or in combination with hydrochlorothiazide for achieving blood pressure goals	Morimoto S	循環器腎内分泌内科
Clinical and experimental nephrology 14(4):363-366	A patient with refractory nephrotic syndrome withdrawn from peritoneal dialysis.	Morimoto S	循環器腎内分泌内科
日本臨床生理学学会雑誌 40(4):165-175	Signal Transduction Mechanism in Ischemic Preconditioning	Moriguchi A	循環器腎内分泌内科
Circulation journal (11):2393-2402	Inhibition of Contractile Activity During Postconditioning Enhances Cardioprotection by Restoring Sarcolemmal Dystrophin Through Phosphatidylinositol 3-Kinase.	Moriguchi A	循環器腎内分泌内科
達人ナース 31(6):98-102	透析看護における薬剤の正しい理解	中東 三聖	循環器腎内分泌内科
Clin Nephrol 74(6):491-492	Peritonitis after gynecological and gastroscopic examinations in a peritoneal dialysis patient	Morimoto S	循環器腎内分泌内科
Therapeutic apheresis and dialysis 14(6):547-551	Characteristics of 20-year survivors undergoing maintenance hemodialysis.	Morimoto S	循環器腎内分泌内科
Gastrointestinal endoscopy 71(4):884	Peroral direct cholangioscopy with an ultraslim gastroscope in combination with a short double-balloon enteroscope in patients with altered GI anatomy	Matsushita M	消化器肝臓内科
Inflammatory bowel diseases 16(5):735	Significant association of appendiceal neoplasms and ulcerative colitis rather than Crohn's disease	Matsushita M	消化器肝臓内科
Scandinavian journal of gastroenterology 45(9):1127-1128	The site of delayed bleeding suggests the cause of bleeding after endoscopic submucosal dissection.	Matsushita M	消化器肝臓内科
肝・胆・膵 60(5):827-832	性差による肝胆膵疾患の臨床,病態,治療効果のDiscrepancy 性差と膵疾患 性差から見た自己免疫性膵炎	岡崎 和一	消化器肝臓内科
胆と膵 31(6):591-596	膵基礎研究の新しい潮流-Bench to Bedをめざして-慢性膵炎における膵内知覚神経の変化	池浦 司	消化器肝臓内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Journal of clinical gastroenterology 44(8):e167-e170	Prophylactic Injection of Hypertonic Saline-epinephrine Oral to the Papilla for Prevention of Postsphincterotomy Bleeding.	Matsushita M	消化器肝臓内科
Schneller (75):34-37	チオレドキシンと炎症性腸疾患	岡崎 和一	消化器肝臓内科
臨床消化器内科 25(9):1213-1224	自己免疫性膵炎 臨床診断基準-海外との比較も含めて	岡崎 和一	消化器肝臓内科
Journal of drug targeting Aug 30. [Epub ahead of print]	The effective therapy of cyclosporine A with drug delivery system in experimental colitis.	Fukata N	消化器肝臓内科
Medicina 47(11):199-201	血液生化学検査 酵素および関連物質 リパーゼ、トリプシン	岡崎 和一	消化器肝臓内科
月刊消化器内科 51(4):336-340	炎症性腸疾患の病態に基づいた治療法の開発 実験腸炎に対するシクロスポリン封入マイクロスフェアの治療	深田 憲将	消化器肝臓内科
臨床と研究 87(10):1436-1444	歩した膵炎・膵癌の診療 自己免疫性膵炎診療ガイドライン2009	岡崎 和一	消化器肝臓内科
Langenbeck's archives of surgery 395(8):989-1000	Autoimmune pancreatitis—a new evolving pancreatic disease?	Okazaki K	消化器肝臓内科
Clinical reviews in allergy & immunology Dec 18. [Epub ahead of print]	Recent Concepts of Autoimmune Pancreatitis and IgG4-Related Disease.	Okazaki K	消化器肝臓内科
Current immunology reviews 7(2):204-211	Immunological aspects of IgG4-related disease	Okazaki K	消化器肝臓内科
医学のあゆみ 326(3):182-188	IgG4関連疾患-日本発あらたな疾患概念 IgG4関連疾患と自己免疫性膵炎	岡崎 和一	消化器肝臓内科
救急・集中治療 23(1-2):239-247	消化器疾患の緊急治療 逆流性食道炎/胃十二指腸潰瘍/ストレス潰瘍	森 茂生	消化器肝臓内科
Inflammatory bowel diseases 17(3):683-695	Oncogenic Smad3 signaling induced by chronic inflammation is an early event in ulcerative colitis-associated carcinogenesis.	Kawamata S	消化器肝臓内科
Journal of gastroenterology 46(3):277-288	Recent advances in the concept and diagnosis of autoimmune pancreatitis and IgG4-related disease.	Okazaki K	消化器肝臓内科
Intestine 15(2):129-134	小腸腫瘍をめぐって II[各論 1-小腸悪性腫瘍](1)小腸癌	島谷 昌明	消化器肝臓内科
MEDICO 42(3):98-104,124	消化器疾患治療の進歩	岡崎 和一	消化器肝臓内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
こころのりんしょうa-la-carte 29(3):378-382	摂食障害は、単一疾患なのか、疾患に伴う症状なのか	福永 幹彦	心療内科
こころのりんしょうa-la-carte 29(3):290-342	摂食障害Q&A集	福永 幹彦	心療内科
心身医学 50(11):1033-1037	消化器心身医療のクリニカルパール 慢性膵炎疑診例・胆道ジスキネジー	阿部 哲也	心療内科
心身医学 50(11):1011-1014	消化器心身医療のクリニカルパール 原因不明の腹部症状	福永 幹彦	心療内科
総合臨床 59(11):2206-2210	心身医学の挑戦-心療内科からすべての診療科へ 心身症とFSS(functional somatic syndrome)	神原 憲治	心療内科
心身医学 50(12):1133-1137	慢性疼痛の心身医学 慢性疼痛と破局化	水野泰行	心療内科
日本心療内科学会誌 15(2):15-21	“真”の心身症患者との出会い -心療内科医だからできる総合診療-	西山 順滋	心療内科
Open Psychiatry Journal 4:25-26	Effect of blonanserin on delirium in a patient with Alzheimer disease.	Okugawa G	精神神経科
Bipolar disorder / Japan 8:39-45	自殺企図にて救急搬送された双極性障害の2症例	板東 宏樹	精神神経科
中毒研究 23(3):246-249	新しいグリホサートカリウム塩製剤による中毒で著しい高カリウム血症を呈した1例	板東 宏樹	精神神経科
中毒研究 24(1):9-15	過量服薬患者の心理的・社会的背景と予防策	板東 宏樹	精神神経科
夜尿症研究 15:5-11	酢酸デスマプレシン治療抵抗性夜尿症に対するフロセミドの併用効果に関する検討	武輪 鈴子	小児科
European journal of pediatrics 169(8):957-960	Immunoglobulin preparations affect hyponatremia in Kawasaki disease	Kneko K	小児科
European journal of pediatrics 169(8):1041	Don't forget potassium!	Kneko K	小児科
Journal of Pediatric Biochemistry 1:39-44	Hospital-acquired hyponatremia in children: Epidemiology, pathophysiology, and prevention	Kneko K	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌 23(2):150-153	乳幼児の好中球におけるShiga toxin刺激下の一酸化窒素産生能	辻 章志	小児科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外科 72(4):385-390	最新の手術機器を用いた肝離断法	松井 康輔	外科
外科治療 102(増刊):540-545	縫合・吻合法の実際 胃切除後の再建術 幽門形成術	中根 恭司	外科
消化器外科 33(5):932-933	処置に伴う合併症と対策 CAPD時のトラブル	山本 智久	外科
消化器外科 33(5):791-793	術後合併症と対策 胃癌手術 胃全摘術	井上 健太郎	外科
消化器外科学レビュー 92-97	3 肝疾患 4. その他の肝腫瘍	海堀 昌樹	外科
小児外科 42(5):495-499	臍部人工肛門造設術	濱田 吉則	外科
小児外科 42(6):676-677	小児外科医の散歩道 私の英国留学よもやま話	濱田 吉則	外科
癌と化学療法 37(8):1497-1501	大腸癌同時性肝転移に対する切除時期を考慮した外科治療成績	海堀 昌樹	外科
Anticancer research 30(9):3827-3831	Efficacy of S-1 in Patients with Capecitabine-resistant Breast Cancer- Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 04-1 Trial.	Yamamoto D	外科
Anticancer research 30(9):3705-3708	Gastric tumor from metastasis of breast cancer.	Yamamoto D	外科
Oncology reports 24(3):795-801	A phase II study of personalized peptide vaccination combined with gemcitabine for non-resectable pancreatic cancer patients.	Yanagimoto H	外科
Nutrition Care 3(5):480-481	特集 消化管のしくみとはたらき 胃のしくみとはたらき	道浦 拓	外科
Nutrition Care 3(5):478-479	特集 消化管のしくみとはたらき 食道のしくみとはたらき	道浦 拓	外科
胆と膵 31(9):869-873	胆膵診療に必須な細胞診・生検診断の知識 膵癌に対する腹腔鏡下細胞診と 生検の意義	里井壯平	外科
Journal of surgical oncology 102(5):462-468	Predictors of microvascular invasion before hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Kaibori M	外科
The Journal of surgical research Oct 16. [Epub ahead of print]	Circulating Myeloid Dendritic Cells as Prognostic Factors in Patients with Pancreatic Cancer Who Have Undergone Surgical Resection.	Yamamoto T	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
日本臨床 (別冊 肝・胆道系症候群2 肝臓編(下)):201-204	肝細胞癌以外の肝腫瘍 肝内胆管癌 肝内胆管肉腫様癌	海堀 昌樹	外科
Digestive diseases and sciences 55(11):3262-3270	Timing of Resection for Synchronous Liver Metastases from Colorectal Cancer.	Kaibori M	外科
外科と代謝・栄養 44(6):293-300	術後高血圧症合併によるC型肝炎関連肝細胞癌切除成績の検討	海堀 昌樹	外科
癌と化学療法 37(12):2271-2273	膵癌に対する術前化学放射線療法後切除例の長期予後の検討	柳本 泰明	外科
胆と膵 31(11):1269-1272	先天性胆道拡張症・胆管合流異常の常識を見直す 小児胆管径の基準値 からみた胆管拡張の定義の問題点	濱田 吉則	外科
Cancer biology & therapy 10(12):1266-1279	Assessment of immunological biomarkers in patients with advanced cancer treated by personalized peptide vaccination.	Yanagimoto H	外科
癌と化学療法 37(13):2901-2903	多剤耐性となった進行再発乳癌に対してS-1単独療法が奏効した1例	吉田 秀行	外科
癌と化学療法 37(12):2679-2682	門脈腫瘍栓を伴う進行肝細胞癌に対するSorafenib+Cisplatin分割肝動注併 用療法のPilot Study	石崎 守彦	外科
手術 64(13):1977-1985	当科における膵頭十二指腸切除術の手技と工夫	里井 壯平	外科
Pancreas 40(1):16-20	Reinforcement of pancreaticojejunostomy using polyglycolic acid mesh and fibrin glue sealant.	Satoi S	外科
日本大腸肛門病学会雑 誌 64(1):1-5	右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術の医療経済学的検討	徳原 克治	外科
Japanese journal of clinical oncology 41(2):165-171	The importance of evaluation of DNA amplificability in KRAS mutation testing with dideoxy sequencing using formalin-fixed and paraffin-embedded colorectal cancer tissues	Iwamoto S	外科
Journal of Hepato- Biliary-Pancreatic Sciences Feb 18. [Epub ahead of print]	Use of the new ultrasonically curved shear in pancreaticoduodenectomy for periampullary cancer.	Satoi S	外科
胆と膵 32(2):157-164	膵癌・胆道癌に対する免疫治療、ワクチン療法の新展開 膵・胆道癌に対する テラーメイドペプチドワクチン療法	柳本 泰明	外科
日本臨床 (別冊 肝・胆道系症候群 3):533-536	その他の肝外胆道疾患 傍乳頭総胆管十二指腸瘻	松井 陽一	外科
日本臨床 (別冊 肝・胆道系症候群 3):219-222	胆嚢 炎症、感染症 黄色肉芽腫性胆嚢炎	豊川 秀吉	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に
発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する
医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of gastroenterology and hepatology 26(3):536-543	Evaluation of metabolic factors on the prognosis of patients undergoing resection of hepatocellular carcinoma.	Kaibori M	外科
Pancreas. 39(2):165-70	Is a Nonstented Duct-to-Mucosa Anastomosis Using The Modified Kakita Method a Safe Procedure?	Satoi S	外科
外科 72(2):174-177	Indocyanine green赤外観察カメラシステムを用いた肝切除後胆汁瘻防止対策についてのパイロットスタディ	海堀 昌樹	外科
消化器外科 33(3):265-276	消化器外科手術アトラス胃全摘後食道空腸吻合のコツとピットフォール	中根 恭司	外科
癌と化学療法 37(3):479-481	病病連携による術前腹腔鏡検査の有用性	井上 健太郎	外科
手術 64(3):	第64回手術手技研究会記事 合併症をおこさない手術手技と工夫-4、5当科における膵頭十二指腸切除術の手技と工夫	里井壯平	外科
胆と膵 (9):869-873	31 胆膵診療に必要な細胞診・生検診断の知識 膵癌に対する腹腔鏡下細胞診と生検の意義	里井壯平	外科
Biotherapy/Japan 24(2):138-143	膵癌に対する免疫療法の試み-MUCA-DC療法- テーラーメイド癌ペプチドワクチン療法(免疫化学療法)	柳本 泰明	外科
Brain tumor pathology 27(1):7-15	Flow cytometric analysis for the mechanism of the new antineoplastic agent temozolomide in glioma cells.	Oshige H	脳神経外科
Brain tumor pathology 27(2):81-87	Morphological and flow cytometric analysis of cell infiltration in glioblastoma: a comparison of autopsy brain and neuroimaging.	Asai A	脳神経外科
Neuro-Oncologyの進歩 19(1):23-24	眼窩腫瘍の一例	大重 英行	脳神経外科
小児内科 43(3):534-537	全面改訂版 必携!けいれん,意識障害-その時どうする(けいれん・意識障害を起こす疾患の治療管理のポイント)脳腫瘍	稲垣 隆介	脳神経外科
小児の脳神経 35(1):49-50	いわゆる仙尾部皮膚陥凹と合併する潜在性二分脊椎のMRIによる検討	稲垣 隆介	脳神経外科
理学療法学 37(4):223-227	テクニック・セオリーの再考:日本独自のシステム作り	吉田清和	整形外科
整形外科 61(7):601-605	抗菌薬含有セメントによる人工関節置換術後の感染予防の可能性	おおえ 賢一	整形外科
Journal of Spine Research 1(8):1469-1474	腰椎変性すべり症に対する修復用SEXTANT systemを用いた治療経験	串田 剛俊	整形外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 53(5):1223-1224	脳室ドレナージチューブを用いて除去しえた術後硬膜外血腫の1例	池浦 淳	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 53(5):1207-1208	妊娠後骨粗鬆症により多発性脊椎圧迫骨折を生じた1例	矢倉 拓磨	整形外科
Journal of Spine Research 1(10):1786-1790	SEXTANTシステムを用いた2椎間TLIFの有効性	串田 剛俊	整形外科
日本整形外科学会雑誌 84(10):861-866	人工股関節置換術後感染の予防と治療	和田 孝彦	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 53(6):1339-1340	後頭骨-頸胸椎間固定術における術中固定姿勢の検討	串田 剛俊	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 53(6):1271-1272	当科におけるインフリキシマブ一次無効、二次無効症例への対応	和田 孝彦	整形外科
日本人工関節学会誌 40:246-247	人工膝関節置換術における膝蓋大腿関節障害の検討	小津 敏	整形外科
臨床リウマチ 22(4):381-388	大阪府下整形外科における関節リウマチ診療の変化-大阪臨床整形外科医 会会員アンケート結果2003年と2008年の比較から-	和田 孝彦	整形外科
Journal of Spine Research 2(2):186-189	In Bloc Laminoplasty Preserving the Semispinalis Muscle for Elderly Patients with Cervical Myelopathy-A Prospective Comparative Study between Elderly Patients and Non-Elderly Patients-	Ikeura A	整形外科
日本骨・関節感染症学会 雑誌 24:73-78	脊椎インストルメンテーション手術後深部感染に対する治療戦略-MRSA感 染と非MRSA感染の比較-	串田 剛俊	整形外科
Journal of orthopaedic science 16(2):258-262	Salmonella septic arthritis following total knee arthroplasty for rheumatoid arthritis in a patient receiving etanercept.	Oe K	整形外科
救急医学 34(4):442-446	局所療法 創傷被覆材	楠本 健司	形成外科
PEPARS (43):30-37	眼瞼形成手技-私の常用する手技のコツ-義眼床再建に伴う眼瞼形 成	楠本 健司	形成外科
形成外科 53(増刊):S116-S117	形成外科の治療指針update 2010 III 頭頸部疾患 30.頭頸部の再建 b. 眼窩(義眼床を含む)	楠本 健司	形成外科
PEPARS (47):50-60	熱傷の初期治療とその後の管理の実際 自家培養表皮の使用とその 応用(各論:ジェイス)	日原 正勝	形成外科
International journal of urology 17(4):382-384	Uninterrupted suturing of renal parenchyma in laparoscopic partial nephrectomy decreases renal ischemic time and intraoperative blood loss	Kawa G	泌尿器科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に
発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する
医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Endourology and ESWL 23(2):197-200	腹腔鏡下腎盂尿管全摘術後の長期予後に関する検討	河 源	泌尿器科
Japanese Journal of Endourology and ESWL 23(2):175-178	温阻血時間を最短にするための工夫	木下 秀文	泌尿器科
International journal of clinical oncology 15(5):472-475	Effectiveness of skin icing in reducing pain associated with goserelin acetate injection.	Kinoshita H	泌尿器科
泌尿器外科 24(3):355-358	尿管転移をきたした前立腺癌の1例	原田 二郎	泌尿器科
日本の眼科 81(5):608-613	わかりやすい臨床講座 加齢黄斑変性の治療戦略	高橋 寛二	眼科
総合臨床 59(7):1633-1634	加齢黄斑変性-治療の進歩	高橋 寛二	眼科
眼科臨床紀要 3(8):804-811	滲出型加齢黄斑変性におけるスペクトラルドメインOCT所見	永井 由巳	眼科
臨床眼科 64(9):1511-1515	血管新生緑内障を合併したEales病の1例	舘野 寛子	眼科
臨床眼科 64(9):1503-1506	超音波乳化吸引術での20ゲージと21ゲージ手術の比較	山田 晴彦	眼科
眼科手術 24(1):4-8	加齢黄斑変性の最新の治療戦略 治療戦略の決定	永井 由巳	眼科
あたらしい眼科 28(2):157-163	黄斑疾患アップデート 加齢黄斑変性の分類と診断	高橋 寛二	眼科
総合臨床 59:1633-1634	加齢黄斑変性～治療の進歩～	高橋 寛二	眼科
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 14(1):42-47	皮膚筋炎に合併した上咽頭癌放射線治療後の嚥下障害にバルーン拡張法が有効であった1例	宮本 真	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 28(1):67-71	耳鼻咽喉科領域における2-5AS測定	友田 幸一	耳鼻咽喉科
JOHNS 26(6):859-863	耳鼻咽喉科領域の新しい診療機器 Balloon sinuplasty	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
喉頭 22(1):18-21	術後癒着声帯に対する音声改善手術の経験	宮本 真	耳鼻咽喉科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
耳鼻咽喉科臨床 103(6):541-546	鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対する内視鏡アプローチ 鼻涙管下鼻甲介スウィング法の応用	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報 61(4):345-352	当施設における声帯麻痺症例の検討	宮本 真	耳鼻咽喉科
JOHNS 26(9):1338-1339	【お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科Q&A 2010】耳編 耳管 かぜをひいたときに耳が詰まったように感じるのはどうしてですか?	土井 直	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床 30(407):991-996	新しい鼻噴霧用ステロイド薬について	朝子 幹也	耳鼻咽喉科
音声言語医学 51(4):318-323	当センターにおける音声障害の統計的観察一声の職業性と喫煙習慣を中心に一	宮本 真	耳鼻咽喉科
音声言語医学 51(4):311-317	声帯嚢胞の臨床的検討一類表皮嚢胞と貯留嚢胞の比較を中心に一	宮本 真	耳鼻咽喉科
画像ラボ 21(10):23-27	内視鏡下鼻内手術の遠隔手技指導実験「鏡」インタフェースで動作の模倣が可能な遠隔手技研修システム	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 53(5):383-385	ナビゲーション手術の必要性和適応拡大についての新たな提言	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 103(10):927-930	ハイリスク下咽頭癌症例に対する双茎遊離空腸移植の経験	井上 俊哉	耳鼻咽喉科
ENTONI (122):72-76	手術支援としてのMRIの応用	友田 幸一	耳鼻咽喉科
大阪保険医雑誌 (535):51-57	鼻副鼻腔手術の新しい話題	友田 幸一	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 20(3):279-286	耳下腺深葉良性腫瘍症例の検討一術後顔面神経麻痺を中心に一	永田 基樹	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 20(3):211-216	MTX関連リンパ増殖性疾患と考えられた上顎歯肉悪性リンパ腫の1例	永田 基樹	耳鼻咽喉科
日本口腔・咽頭科学会雑誌 23(1):83-86	Plummer-Vinson 症候群に舌癌を伴った1症例	藤澤 琢郎	耳鼻咽喉科
IVR会誌Suppl 39-40	Metallic Stentの現況と進歩Ⅵ、ステント治療のEBM 7. 気道ステント	谷川 昇	放射線科
椎体形成術研究会 6-11	骨粗鬆症性圧迫骨折500椎体に対する経皮的椎体形成術:長期成績を中心に、脊椎椎体形成術のすべてVol.3、川西昌浩編集	谷川 昇	放射線科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床放射線 55(4):535-540	悪性リンパ腫・多発性骨髄腫における脊髄神経周囲進展のFDG-PET/CT所見	河 相吉	放射線科
臨床放射線 55(5):632-636	IVRのエビデンスを求めて 骨セメント・RFA	谷川 昇	放射線科
日本放射線技術学会雑誌 66(6):646-649	輝く放射線医療 今そして未来 人と技術のハーモニー IVR 塞栓材料と塞栓技術	谷川 昇	放射線科
Japanese journal of radiology 28(6):473-475	Asymptomatic paradoxical and symptomatic pulmonary air embolism during central venous catheter insertion.	Kariya S	放射線科
DIGITAL MEDICINE (44):22-23	FDG-PET,アシアロシンチが病態評価に有用であった門脈閉塞,肝萎縮の一例	河 相吉	放射線科
総合臨床 59(7):1679-1683	結節型を呈する腎腫瘍のDynamic造影CT-MRI	田中 聖道	放射線科
Rad Fan 8(11):72-75	VRの最新デバイス Part2 内頸静脈からのトンネル型中心静脈カテーテル留置デバイスと手技について	狩谷 秀治	放射線科
Acta radiologica 51(9):994-1001	Efficacy of carbon dioxide for diagnosis and intervention in patients with failing hemodialysis access.	Kariya S	放射線科
臨床画像 26(12):1415-1419	私が行っている基本手技 若手に伝えたい侵襲的検査・IVRの技 4 気道ステント留置術	澤田 敏	放射線科
臨床放射線 56(1):29-35	肺硬化性血管腫の胸部X線写真,CT,FDG-PET	河 相吉	放射線科
日独医報 55(3-4):288-293	緩和ケアにおける放射線治療・IVR 8.気道狭窄に対するIVR-気道ステント-	谷川 昇	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies Mar 21. [Epub ahead of print]	Metallic stent placement for malignant airway stenosis.	Tanigawa N	放射線科
Minimally invasive therapy & allied technologies Mar 14. [Epub ahead of print]	Percutaneous bypass creation between hollow organs by modified gun-sight approach.	Kariya S	放射線科
Fertility and sterility 93(8):2680-2686	Estrogen and selective estrogen receptor modulators regulate vascular endothelial growth factor and soluble vascular endothelial growth factor receptor 1 in human endometrial stromal cells.	Okada H	産婦人科
臨床婦人科産科 64(5):823-827	不妊治療に必要な着床の基礎知識	岡田 英孝	産婦人科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 17(2):193-194	ホルモンQ&A GnRHaでの治療後、なかなか妊娠しない場合にはどのような対応が必要でしょうか?	神崎 秀陽	産婦人科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 17(2):192-193	ホルモンQ&A 低用量ピルを取り巻く最近の話題について教えてください	神崎 秀陽	産婦人科
臨床婦人科産科 64(7):1096-1011	診断と治療の実際 卵管妊娠	笠松 敦	産婦人科
産婦人科の進歩 62(3):304-307	円錐切除術と子宮留血症	中嶋 達也	産婦人科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 17(3):244-249	子宮内膜と血管新生	岡田 英孝	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 62(11):2337-2349	血管新生と脱落膜化における性ステロイドホルモンによる調節機構の解明	岡田 英孝	産婦人科
Fertility and sterility 95(2):742-746	Concentrations of stromal cell-derived factor-1 and vascular endothelial growth factor in relation to the diameter of human follicles.	Okada H	産婦人科
Ultrasound in Obstetrics and Gynecology 37(2):245-346	Prenatal diagnosis of left pulmonary artery sling	H.Yorioka	産婦人科
Ultrasound in obstetrics & gynecology 37(2):245-246	Prenatal diagnosis of fetal left pulmonary artery sling.	Yorioka.H	産婦人科
日本受精着床学会雑誌 28(1):35-39	精子運動解析装置SMAS(Sperm Motility Analysis System)を用いた Conventional IVFにおける受精率の検討	岡田 英孝	産婦人科
産婦人科治療 102(3):263-266	最新情報からみた子宮内膜症とその対策 子宮内膜症薬物治療の変遷と将来展望	神崎 秀陽	産婦人科
「臨床麻酔」 34(4号):753	スガマデクスの基礎と使い方	久保 古寿江	麻酔科
Clinical and experimental hypertension 32(6):341-346	Pitavastatin Further Decreases Serum High-Sensitive C-Reactive Protein Levels in Hypertensive Patients with Hypercholesterolemia Treated with Angiotensin II, Type-1 Receptor Antagonists.	Yoshika M	臨床検査医学科
日本臨床検査自動化学 会誌 35(2):201-204	凝固線溶検査の標準化 クロスマキシング試験の標準化と利用 原因不明の 出血や血栓を解明するために	高橋 伯夫	臨床検査医学科
肝臓 51(5):236-242	肝限局性結節性過形成による下大静脈狭窄によるBudd-Chiari症候群様の 血流異常を認めた1例	坂井田 紀子	臨床検査医学科
日本病院薬剤師会雑誌 46(5):673-677	抗精神病薬による重篤な低血糖発現事例とその考察	高橋 伯夫	臨床検査医学科
Clinical and applied thrombosis/hemostasis Jun 7. [Epub ahead of print]	A Difficult Diagnosis Case of Prolonged Thrombocytopenia With Sepsis and Disseminated Intravascular Coagulation.	Yoshika M	臨床検査医学科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International journal of cardiology 142(1):80-86	Sympathetic overactivity and sudden cardiac death among hemodialysis patients with left ventricular hypertrophy.	Takahashi H	臨床検査医学科
Lab Medicine 41(7):403-409	Performance of BD Phoenix in Identification and Susceptibility Testing of Streptococcus pneumoniae	Hakuo Takahashi	臨床検査医学科
病理と臨床 28(7):752-756	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫と主な亜型・疾患単位 DLBCLの新項目 T細胞/組織球豊富型	植村 芳子	臨床検査医学科
Histopathology 57(3):494-497	A unique renal cell carcinoma with features of papillary renal cell carcinoma and thyroid-like carcinoma: a morphological, immunohistochemical and genetic study.	Ohe C	臨床検査医学科
日本胸部臨床 69(9増刊):S215-S220	縦隔および胸膜疾患 縦隔内甲状腺腫	坂井田 紀子	臨床検査医学科
病理と臨床 28(10):1053-1059	頻度の低い腎上皮性腫瘍	大江 知里	臨床検査医学科
臨床化学 39(4):334-341	ナトリウム利尿ペプチド	高橋 伯夫	臨床検査医学科
Internal medicine 49(23):2569-2575	Idiopathic Duct-Centric Pancreatitis (IDCP) with Immunological Studies.	Uemura Y	臨床検査医学科
Medical molecular morphology 43(4):235-240	A case of splenic low-grade mucinous cystadenocarcinoma resulting in pseudomyxoma peritonei	Ohe C	臨床検査医学科
感染症学雑誌 85(1):49-53	FKS2遺伝子変異によるMicafungin低感受性<I>Candida glabrata</I>が検出された1例	高橋 伯夫	臨床検査医学科
日本臨床外科学会雑誌 72(1):88-92	小腸内視鏡点墨後に腹腔鏡補助下に切除したコレステリン塞栓による多発小腸狭窄の1例	大江 知里	臨床検査医学科
臨床病理 59(1):50-54	NK細胞およびマクロファージの機能測定法	高橋 伯夫	臨床検査医学科
臨床眼科 65(2):213-217	著明な白板症と白色眼脂をきたした角結膜扁平上皮癌の進展例	植村 芳子	臨床検査医学科
Clinical and experimental pharmacology & physiology 38:334-337	Isolation of marinobufotoxin from the supernatant of cultured PC12 cells.	Yoshika M	臨床検査医学科
臨床病理レビュー (147):164-166	第4章 治療-臨床検査の役割 3.第二世代のDIC治療 c.ダナパロイドナトリウム	北澤 康秀	救急医学科

計207件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

OK

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今村洋二
管理担当者氏名	事務部長 竹林俊雄、看護部長 安田照美、薬剤部長 廣田育彦

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課、各診療科、薬剤部、手術部、各病棟、臨床検査部、放射線部、病歴情報課、地域医療連携部	保管部署で管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	病歴情報課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
項規 第則 第一 号に 条の 掲げ 十一 体第 一項 確各 保号 の状 況第 九条 の二 十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	37回	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	27回	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	有	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 (5名)	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	有
		院内感染対策のための委員会の開催状況	12回
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	19回
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	有
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	有
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	43回
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	有
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 今村 洋二
閲覧担当者氏名	医療安全管理部課長 長澤 博 医療情報部病歴情報課主任 北村 臣
閲覧の求めに応じる場所	1階 情報ライブラリー室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.0 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	21,444人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,812人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,381人	
	D: 初診の患者の数	32,482人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① ・ 無
・ 指針の主な内容： 1) 医療安全管理のための基本方針 2) 医療安全管理のための委員会その他の組織に関する規程 3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 4) 医療事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 （患者等に対する当方針の閲覧に関する基本方針を含む） 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他医療安全の推進のための必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 37 回
・ 活動の主な内容： 1) 医療安全管理対策委員会 （12回） 医療安全管理に関する全体の統括を行い、医療事故防止の検討と実行を行う。 2) 医療事故対応委員会： （14回） 医療にかかる事故が発生した場合に医療事故対応方針等を緊急に審議し、迅速に対応し処理することを目的とする。 3) セーフティーマネージャー会 （11回） 医療安全管理部と連携して、インシデント事例の把握と改善策を検討し、それらを職員に周知徹底する。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 27 回
・ 研修の主な内容： 別紙①参照	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （① ・ 無） 1) 電子化入力運用を行っており、第一報は全職員、第二報通知は、セーフティーマネージャーがそれぞれ入力を行っている。 2) 事故報告等の目的は、「個人を罰する事ではなく事故の再発防止に活用することである」と定めている。 3) 報告すべき事項は、療養指導から院内給食に関するものまで29項目である。 4) 報告先は、セーフティーマネージャー、所属部門の部長を経て、医療安全管理部、病院長である。緊急を要する場合は直接病院長へ報告し指示を受けて対処する。 5) 医療安全管理部は、報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティーマネージャーと分析し、対策を講じる。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <安全研修> 1) 医療安全研修ならびにDVD上映会 2) セーフティーマネージャー会研修 3) 技術教育 （超音波装置を使用した中心静脈穿刺について、刺股警戒杖の取扱い） 4) 中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション 5) セーフティーマネージャー会への研修医の出席 6) 「マンスリーレポート」、「医療安全情報」	

(様式第13-2)

<情報システムの活用>

- 1) ラーニングシステムによる講演会の配信
- 2) ホームページの開設

<安全巡回>

- 1) テーマに沿った計画的な医療安全管理者による巡回
- 2) 学内附属病院における相互ラウンド
- 3) 私立医科大学病院相互ラウンド

<改善の為の取り組み>

- 1) 医療安全管理マニュアル、ポケットマニュアルを一部改正した。
- 2) 医療安全講習会を計画的に行い、寸劇やビデオを取り入れ客観的に安全対策が伝わるようにした。
- 3) RCA分析を各部門と行い根本的原因について改善策を考えた。
- 4) 1回配薬におけるPTP包装の取り扱いを変更した。

⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
	・ 所属職員: 専任(6)名 兼任(9)名	
	・ 活動の主な内容: 1) インシデントレポート等の医療安全情報の収集、分析と改善案の立案 2) 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言及びコンサルテーション 3) 改善策実施後の評価 4) 医療安全管理マニュアルの改訂立案 5) 職員の安全管理に関する研修の企画、運営	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 別紙②参照	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： ・ MRSAの検出状況の把握 多剤耐性菌検知と対策 ・ 針刺し事故の発生状況と事故防止対策の検討 ・ 病院感染発生時の対応、対策 ・ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ・ 研修会セミナーの開催 ・ 抗菌薬使用報告書 ・ 院内ラウンド・サーベイランス ・ 職員のワクチンプログラム	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 19 回
・ 研修の主な内容： 別紙③参照	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ ICTラウンドによる情報共有と改善 ・ 手指消毒剤の使用量調査・携帯式手指消毒剤の使用部署拡大 ・ 安全器材の導入	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	■ 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 前年度 GLP-1アナログ製剤「ビクトーザ皮下注」使用時の注意点 ～インスリン製剤の安全使用を含めて～ (別紙④) 今年度 平成23年11月1日(火)に開催予定 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (■ 有 ・ 無) 「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書」遵守に関する記録 (別紙⑤) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の供給、外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用、医薬品情報の収集・管理・提供、持参薬管理に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項、他施設との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (■ 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省から発出される医薬品・医療機器等安全性情報、緊急安全性情報、製薬企業から発出される安全性速報、適正使用情報、添付文書改訂情報等の国内情報に加え、海外規制機関から発出される医薬品安全性情報等の収集を行い、院内イントラネットの電子メール利用者すべてに電子メールを発信し、知り得た情報の周知を図っている。(別紙⑥) 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 43 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別紙⑦ 参照 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 別紙⑧ 参照 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： メーカーや厚生労働省から発信される医療機器安全情報を株式会社MCヘルスケアが収集する。当院に設置（使用）や関係しているものに関して医用工学センター及び医療機器安全管理責任者が書面にて連絡を受け、内容を吟味検討した上で、関連部署や職員にむけて書面やメールで情報発信を行っている。 医療機器安全管理責任者は月 1 回行われる医療安全管理委員会に出席し、適宜情報の交換を行う。 	

別紙①

医療安全管理研修実施状況（平成22年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
平成22年4月22日	刺股、警戒杖、護身術講習会	49	
6月3日	臨床検査セミナー「臨床検査に係わるインシデント報告」 「保険診療における臨床検査の使い方」 臨床検査部	197	安全部共催
6月4日	医療安全講演会「暴言暴力について」 医療安全管理部 「院内の暴言対応について」 池永 公一先生	279	
6月17日	医療安全講演会「医療安全の基本」	195	
8月9日・20日	医療安全講演会 DVD上映会「医療安全の基本」	284	
10月19日	医療安全講習会「医療事故を起こした職員への対応」	170	
	職場単位でのDVD研修会 (4月から10月まで開催分)	65	
11月16日	医療安全講習会「ファミ前でホン音が鳴ったら」	310	
11月19日	第7回 医療安全大会 滝井病院の救急コールへの取組み他4題	254	
12月16日	臨床検査セミナー「感染対策と医療安全」 京都大学医学部 一山 智 教授	237	安全部共催
12月17日・1月13日	医療安全大会 (DVD上映会)	268	
12月21日	医療安全講習会「タイムアウトとブリーフィング」	227	
1月18日	医療安全講習会「今日、あなたはMRIを受けます」	192	
1月27日	医療安全講演会「転倒の危険性とその予防」 小室 元先生(小室整形外科医院院長、関西医大非常勤講師)	142	
2月4日・14日 3月11日	医療安全講習会 「あなたはミスをしたことがありますか」 対象(派遣業務委託職員)	530	
2月15日	医療安全講習会「異型輸血はなぜ怖い～その時 あなたの役割は」	170	
2月16日	医療安全講演会 医療訴訟ガイダンス 大阪地裁第19民事部 裁判長 濱本章子他	83	
2月17日	医薬品安全講演会「GLP-1アゴ製剤の「外サ」皮下 注使用時の注意点」ノボルデイスファーマ(株) 中丸秀一	100	安全部共催
2月22日	臨床検査セミナー「臨床検査に関するQ&A (医療安全 インシデント報告)」 臨床検査部	128	安全部共催
3月11日	医療訴訟ガイダンスDVD上映会	25	
3月15日	医療安全講習会「ヒューマンエラーを防ぐ知恵」	100	
3月28日	医療事故報告会「医療事故と公益通報」	83	
	職場単位でのDVD研修会 (11月から3月まで開催分)	334	
	計	4,422	

別紙②

病院感染対策指針

感染対策委員会

I 病院感染対策に関する基本的な考え

関西医大附属枚方病院は高度先進医療を担う特定機能病院であり、さまざまな感染症の診療も行われていることから、そこで治療を受けている患者様は、常に感染の脅威にさらされている。病院の理念である「慈仁を心の鏡とした患者様本位の病院」を実現するためには、全ての職員が病院感染の防止に留意し、スタンダードプリコーションを日常的に実践し、感染等発生の際は、その原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることが重要である。病院感染防止対策を全ての職員が把握し、適切な医療を提供できるよう、本指針を作成するものである。

II 感染対策委員会の設置

- 1、 病院長のもとに、感染症管理部長を長とし、各専門職代表を構成員として組織した感染対策委員会を設け、月1回の定例会議を行う。感染対策委員会は、病院感染対策の意思決定機関であり、その指示の元に、実働部隊としてインフェクションコントロールチーム（ICT）を組織する。ICTは、感染症管理部と協力し、各部署のリンクナース、リンクドクターと連携しつつ具体的な対策を講じる。
- 2、 感染対策委員会は次の内容について協議し、感染対策を推進する。
 - ① 病院感染対策指針及び感染対策マニュアルを作成し、見直す。
 - ② 病院感染対策に関する資料を収集し、職員へ周知する。
 - ③ 職員研修を企画する。
 - ④ 異常な感染症が発生した場合は、速やかに発生原因を究明して対策を立案し、対策を実行すべく全職員に周知徹底を図る。
 - ⑤ 必要に応じて患者への情報伝達を行い、患者の疑問、不安に答えると同時に、患者・家族の感染防止に対する協力を得る

III 病院感染対策マニュアル

全ての職員は、病院感染対策マニュアルを理解し、日常業務の中で実施しなければならない。特にスタンダードプリコーションは感染防止の基本であり、全ての職員が習熟する必要がある。マニュアルは定期的に改訂し、常に最新の感染対策が提示されるようにする。

IV 感染症の報告

- 1、 医師は、下記に掲げる者を診断したときは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、①は直ちに、②は7日以内に、管理課を通じて保健所長に届け出る。
 - ① 一類感染症の患者、二類感染症又は三類感染症の患者、又は無症状病原体保

有者及び新感染症に罹患していると疑われる者

- ② 四類感染症のうち、後天性免疫不全症候群、梅毒、マラリア、その他、厚生省令で定めるものの患者（無症状病原体保有者を含む）

2、 以下に掲げる感染症または保菌者が発生した場合は、施設内での感染を防御するために感染症管理部に届ける。

- ①結核菌の排菌者
- ②EKC 発症者
- ③感染性胃腸炎（ノロウイルス、O-157 等）の保菌者
- ④疥癬
- ⑤インフルエンザ
- ⑥薬剤耐性菌保菌者（ MRSA、MDRP、VRE、その他 ）
- ⑦その他重要と思われる感染症

V 病院感染発生時の対応

病院感染が疑われる場合や、重大な感染症で嚴重な感染対策が必要な場合は、以下の3つのレベルで対応する

レベル1・・・通常の感染対策で対応できる場合は、マニュアルに従って口頭で具体的対策を指示する。

レベル2・・・委員会での決定が必要で、緊急を要しない場合は、定期の感染対策委員会で審議し、方針を決定する。

レベル3・・・重大な感染症で早急な対応が必要な場合は、臨時の感染対策委員会を開催する。緊急の場合は感染症管理部長の権限で開催し、病院長、感染管理部長、同副部長、感染対策専任者の出席で議決可能とする。
また当該診療科、病棟の責任者も会に召集できる。

VI 職員研修の基本方針

枚方病院における感染対策の基本的な考えや具体策の周知徹底、さらには感染症に関わる最新の知識の習得のために、全職員を対象にした研修会を開く。

- ① 新入職の医師・看護師を対象としたオリエンテーションを入職にあわせて行う。看護助手、清掃業者、調理員などにも必要時に感染予防に関する研修を行う。
- ② その時々の特ピックスや院内で発生した感染症に関係した講演会を、有識者を招き年2回以上開催する。
- ③ 研修会や講演会に参加できなかった職員のために、資料やDVDを保存し、より多くの職員が最新の知見が得られるような環境を整える。

VII 患者への指針の公開

枚方病院での病院感染対策指針はホームページに掲載し、誰でも閲覧できるものとする。

附則

この指針は、平成 19 年 9 月 10 日から施行する。

附則

この指針は、平成 21 年 7 月 16 日から施行する。

別紙③

院内感染防止対策研修実施状況（平成22年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
H22. 4. 5	標準予防策・採血・導尿留置	45	
2010/7/12 8/3・8/19	感染対策講演会（結核）・DVD上映	582	
H22. 9から随 時	医師対象感染対策講演会DVD上映（結核）（抗菌薬）各1回	171	
H22. 7. 21	衛生講習会（食中毒・手洗い）	72	
H22. 8. 2	臨床検査セミナー	147	
H22. 9. 2	臨床検査セミナー	192	
H22. 9. 7	認定看護師セミナー	144	
10/7, 10/28	看護助手研修	80	
10月	看護師対象（針刺し予防策）	120	
10月	トーカー（看護助手）研修 トーカー共催	82	
H22. 10. 26	感染管理認定看護師セミナー	164	
11月	サンエイ（清掃）研修 サンエイ共催	88	
H22. 12. 7	感染管理認定看護師セミナー	153	
H22. 12. 16	臨床検査セミナー	238	
2010/1/28 2/7, 2/9, 2/10	感染対策講演会（抗菌薬）	520	
H23. 2. 9	HPVワクチン 安全衛生管理部共催	160	
H23. 2	感染対策研修（3回）	544	
H23. 2. 22	臨床検査セミナー	127	
H23. 3. 9	感染対策講演会（活動報告）	104	
計		3,733	

別紙④

医療安全講演会

日時：平成23年2月17日(木曜日)
17時30分～18時30分

場所：枚方病院13階 講堂

テーマ：

GLP-1アナログ製剤「ビクトーザ皮下注」 使用時の注意点 ～インスリン製剤の安全使用を含めて～

講師：ノボノルディスクファーマ(株)関西ブロック業務学術グループ

中丸秀一

ビクトーザ®は、GLP-1受容体に作用しインスリン分泌を促進して血糖降下作用を発現する。このため、インスリンを分泌させる膵β細胞がほとんど、あるいは全く機能していない患者には効果を示さないにもかかわらず、インスリン治療から切り替えたために糖尿病ケトアシドーシスと高血糖を発症し死亡に至った事例が他施設で複数例報告されています。

今回、当院でも採用になった「ビクトーザ皮下注」使用時の注意点を中心にインスリン製剤の安全使用についても講演頂きます。

年2回の受講が義務づけられている医療安全講習会に相当します。
(開始20分以降に来られた場合は、出席扱いとなりませんのでご注意ください。)

主催：医薬品安全管理責任者
医療安全管理部

問い合わせ先(事務局)：医療安全管理部(川瀬) 内線：3060・3061

別紙⑤

医薬品の保管・補充等に関する事項	CCU	4N	GICU	5N	5E	NICU	6N	6S	7N	7S	8N	8S	9N	9S	10N	10S	11N	11S	12N	12S	遵守率	
供給方法に関してはセット交換方法カート補充方式集計表補充方式等各部門の状況に応じ、薬剤部との合議の上、方式を決定している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品の保守管理については設置場所を定め、手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置薬品の管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
病棟における医薬品の在庫は事故防止や品質確保を考慮した定数管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
ショック時に使用する救急医薬品を配備している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
病棟に配置する医薬品の品目や数量は、必要最低限に留めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品や特に安全管理が必要な医薬品(要注意薬)については病棟への配置は必要最低限としている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置医薬品の品目・数量を使用実績、必要性から定期的に見直ししている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
麻薬については院内で定められた取扱手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
毒薬、向精神薬、及び特別な管理を必要とする医薬品(特別管理薬)の取扱手順については処方病院「毒薬・向精神薬等管理業務手順書」の記載事項を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特別管理薬に関しては医療安全管理対策委員会で定めた院内の運用管理基準を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
毒薬・向精神薬など在庫数、使用期限等を確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特定生物由来製品及び要注意薬には管理に注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
冷所保存の医薬品は冷蔵庫に保管している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬などは患者の手の届く場所には保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
注射薬、吸入薬との取り間違い防止のため他の容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急カートについては、救急薬の品目及び数量の設定を薬剤部との合議により定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急カートの保守管理については設置場所を定め、手順を遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置薬を使用した場合は実施済処方・実施済注射処方等でオーダー入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置分以外の処置薬、皮内反応等は手書き伝票にて請求している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品は定期的供給時間が定められ、SPDにて搬送されている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

該当しない理由

- 1 重症部門では、オーダー番号による管理をしておらず添付ラベルはない。
 - 2 持参薬はない。
- 備考:手術室は例外的運用を行っている部分が多く一覧表より除外している。

「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守に関する記録
(外来診療ブース・外来診療科別 自己点検結果)

2011.7.1作成

○:遵守している -:該当しない

処方発行に関連する事項	S1-B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	P1	遵守率	
外来患者に対しては原則として院外処方箋を発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
入院中の他科受診の患者及び救急外来受診の患者に対しては原則として院内処方に対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダーに際しては正確な入力を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方発行の際、安全確保のための注意喚起表示等に注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
院外処方変更時に医師が印字を手書きで修正する場合は、必要時、別途マニュアルの記載を確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方変更の場合には、その内容を記録入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要時に応じて処方変更内容及び処方変更目的を各職種へ連絡している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会により変更された内容などは診療側で診療録、指示簿等へ反映している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会や確認が円滑に行われるよう、職種間の連携体制を築いている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

医薬品投与後に関する事項	S1-B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	P1	遵守率	
確実安全に投与されたことを確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者の訴えや臨床検査値、病態変化から副作用の可能性を検討している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者情報の収集に努め、副作用の初期症状、コンプライアンス等の訴えに注意している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特に新薬の投与時や処方変更時には注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
治療域が狭い医薬品は、TDMを行う等、投与には細心の注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与设计管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて定期的な検査を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
副作用の早期発見及び重篤化回避のための体制整備に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
各部門が協力して緊急時のための体制を整備している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース:外来診療科

S1-B:放射線治療科・血管造影IVR科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科

H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科・肝胆膵外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科,③神経内科,④心療内科

K1:①腎泌尿器外科,②腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 P1:血液浄化センター 合計30外来診療科にて実施

他施設との連携に関する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	P1	遵守率	
処方発行時には常用量処方日数・併用・服用期間などに関するシステムによるチェック或いは警告表示を確認して必ず処方内容を点検し、オーダ発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
後発品に関する保険薬局への連絡は、医師がオーダ時に処方ツールで行える機能を利用し、後発品変更「可」「不可」が処方箋に印字された場合は、この出力内容を確認し、押印している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
保険番号に関する問合せは相談窓口へのFAXを受けて、医事課が対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
例えば保険薬局からの問合せの際には直ちに返答せず、確認の為に折返し連絡する等して個人情報保護の観点から対策を講じている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

医薬品の保管・補充等に関する事項	S1・B	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	P1	遵守率	
医薬品の保守管理については設置場所を定め、遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急薬の品目及び数量の設定を薬剤部との合議により定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品や特に安全管理が必要な医薬品については、配置は必要最低限としている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬などは患者の手の届く場所には保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
注射薬、吸入薬との取り間違い防止のため他の容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置薬を使用した場合は実施済処方・注射・処置等のツールで入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダ指示を確認の上、実施入力を行い、電子カルテに記録している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置分以外の処置薬、皮内反応等は手書き伝票にて請求している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品は定期の供給時間が定められ、SPDにて搬送されている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース: 外来診療科

S1・B:放射線治療科・血管造影IVR科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科

H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科・肝胆膵外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科,③神経内科,④心療内科

K1:①腎泌尿器外科,②腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 P1:血液浄化センター 合計30外来診療科にて実施

該当しない理由

1. 時間外診療時は外来院内処方箋にて対応

別紙⑥

件名	受信日時
S... Health Canada: 麻酔用神経遮断剤ドロペリドール注による重篤な不整脈について	2010/09/06...
S... Health Canada: フィブリン糊製剤による空気塞栓症について	2010/09/06...
S... MedWatch Alert: ガドリニウム含有造影剤による腎性全身性線維症の危険性に関する警告の追記について	2010/09/17...
S... 厚生労働省: PTP包装シート誤飲防止対策について	2010/09/17...
S... Health Canada: 抗リウマチ薬アクテムラによる致死的なアナフィラキシーの危険性について	2010/09/28...
S... FDA: ビスホスホネート製剤長期使用に伴う大腿骨骨折の危険率上昇について	2010/09/28...
S... MedWatch: 2型糖尿病治療薬アクトスによる膀胱癌の危険性に関する安全性審査について	2010/09/29...
S... MedWatch Alert: 小児における抗ウイルス薬バルガンシクロピルの過量投与防止対策について	2010/09/29...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.272)	2010/10/01...
S... ビクトーザへの切り替えによる死亡例について	2010/10/07...
S... ビクトーザ皮下注18mgに関する重要な安全性情報(ブルーレター)	2010/10/13...
S... Health Canada: スタチンによる間質性肺疾患について	2010/10/14...
S... ケトプロフェンテープ・モラステープの「禁忌」欄等の改訂について	2010/10/16...
S... Health Canada: カルシウムサプリメントに関する進行中の審査について	2010/10/18...
S... Health Canada: グレドロン酸点滴静注用と腎機能障害との関連性について	2010/10/25...
S... MedWatch: 経口ビスホスホネート製剤による非定型大腿骨骨折に関する添付文書の改訂について	2010/10/26...
S... MedWatch: GnRHアゴニストによる糖尿病および心血管疾患の危険率上昇について	2010/10/26...
S... MedWatch Alert: インビラーゼによる心律動異常の危険性について	2010/10/26...
S... Health Canada: ビスホスホネート製剤による大腿骨骨折の危険性について	2010/10/26...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.273)	2010/10/27...
S... がん疼痛治療薬トラマールに関する重要な警告欄改訂(FDA)について	2010/11/08...
S... 厚生労働省: 肺炎球菌ワクチン誤接種防止対策について	2010/11/10...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.274)	2010/11/25...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.275)	2010/12/27...
S... MedWatch: ソマトロピンによる死亡の危険率上昇に関する進行中の安全性審査について	2011/01/04...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.276)	2011/01/27...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.277)	2011/03/02...
S... 厚生労働省: 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチン接種の一時見合わせについて	2011/03/07...
S... MedWatch: 妊娠中の抗精神病薬使用が新生児に及ぼす危険性について	2011/03/07...
S... 厚生労働省: 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの安全性について	2011/03/09...
S... MedWatch: プロトンポンプ阻害薬の長期使用に伴う低マグネシウム血症について	2011/03/16...
S... MedWatch: 抗てんかん薬ピラマートによる口腔の裂奇形について	2011/03/17...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.278)	2011/03/24...
S... 厚生労働省: 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの安全性の評価結果について	2011/03/25...
S... 厚生労働省: 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの安全性の評価結果について(再送)	2011/03/25...
S... 厚生労働省: 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの接種の再開について	2011/03/31...
S... MedWatch: プロトンポンプ阻害薬による骨折の危険率上昇について(続報)	2011/04/11...
S... MedWatch: レブラミドによる2次発がんの危険率上昇について	2011/04/20...
S... MedWatch: 若年者および若年成人におけるTNF遮断薬、アザチオプリン、メルカプトプリンによる肝脾T細...	2011/04/22...
S... MedWatch: 長時間作用型β作動薬(LABA)に関する市販後安全性試験の実施について	2011/04/25...
S... MedWatch: オルメサルタンと心血管イベントに関する安全性審査(続報)について	2011/04/27...
S... Health Canada: フルチカゾンプロピオン酸エステルに伴う骨壊死の可能性について	2011/04/28...
S... Health Canada: 糖尿病患者におけるパレニクリン使用に伴う高血糖の可能性について	2011/04/28...
S... 厚生労働省: 模造医薬品による健康被害に対する注意喚起について	2011/04/28...
S... 厚生労働省: 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」改訂について	2011/05/02...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.279)	2011/05/26...
S... 厚生労働省: 模造医薬品による健康被害に対する注意喚起について(第2報)	2011/05/27...
S... ピオグリタゾン塩酸塩製剤のフランスにおける使用制限について	2011/06/14...
S... MedWatch Alert: 5-α還元酵素阻害剤による前立腺癌の危険率上昇について	2011/06/17...
S... MedWatch: ドロスピレノン含有経口避妊薬による静脈血栓塞栓症の危険率上昇について	2011/06/20...
S... MedWatch: アクトスによる膀胱癌の危険率上昇について	2011/06/21...
S... MedWatch: ARBによる癌の危険性に関する審査結果について	2011/06/22...
S... Health Canada: リツキサンによる致死的なインフュージョン・リアクションについて	2011/06/22...
S... Health Canada: 妊娠中の抗精神病薬使用が新生児に及ぼす危険性について	2011/06/23...
S... 「プラザキサカプセル」適正使用のお願い	2011/06/24...
S... MedWatch: 糖尿病治療薬ビクトーザ注による甲状腺C細胞腫瘍および急性膵炎の危険性について	2011/06/24...
S... 「フェントステープ」長期投与制限の継続について	2011/06/24...
S... アクトスの「使用上の注意」改訂	2011/06/27...
S... MedWatch: 禁煙補助薬チャンピックスによる心血管有害事象について	2011/06/28...
S... EMA: ピオグリタゾンと膀胱癌に関する審査の状況について	2011/06/28...
S... Health Canada: 禁煙補助薬チャンピックスと心臓関連副作用の危険率上昇について	2011/06/29...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報(No.280)	2011/07/01...
S... MedWatch: バルプロ酸ナトリウムによる認知発達障害の危険性について	2011/07/06...
S... MedWatch: CKD患者におけるESA投与量の低用量化について	2011/07/07...
S... フランスにおけるピオグリタゾン製剤の市場回収について	2011/07/12...
S... Health Canada: 妊娠中のバルプロ酸使用が子に及ぼす危険性について	2011/07/13...
S... 禁煙補助薬チャンピックスによる自動車事故について	2011/07/13...
S... Health Canada: プロトンポンプ阻害薬による低マグネシウム血症について	2011/07/19...
S... EMA: ピオグリタゾン製剤の添付文書改訂について	2011/07/25...

! □ 件名	受信日時
S... Health Canada: メトクロプラミドによる遅発性ジスキネジアについて	2011/07/26...
S... 医薬品・医療機器等安全性情報 (No.281)	2011/07/28...
S... MedWatch: 経口ピスホスホネート製剤による食道癌の危険率上昇について	2011/08/03...
S... MedWatch: チャンピックスの心血管有害事象の危険性に関する添付文書改訂について	2011/08/04...
S... MedWatch: ザイボックスとセロトニン作動薬の併用による重大な中枢神経系の反応について	2011/08/08...
S... MedWatch: フルコナゾールの長期高用量子宮内曝露による先天異常について	2011/08/09...
S... Health Canada: プロベシアによる男性乳癌の危険性について	2011/08/09...

件名	受信日時
S... 「ガベキサートメシル酸塩注射用100mg「サワイ」」、「同注射用500mg「サワイ」」への製品名変更について...	2010/10/12 ...
S... 「プロテカジン錠10」への切り替えについて	2010/12/02 ...
S... 投薬期間制限解除品目についてのお知らせ	2010/12/10 ...
S... 12月30日の薬剤システム通信不可時間帯における対応について	2010/12/28 ...
S... 田辺三菱製薬(株)の3製品の自主回収について	2011/01/28 ...
S... 新たに導入する後発医薬品検討に関するお願いについて	2011/02/15 ...
S... 消炎酵素製剤「ダーゼン」の自主回収について	2011/02/21 ...
S... 子宮頸がん予防ワクチンの供給不足について	2011/03/07 ...
S... 子宮頸がん予防ワクチンの供給不足について(再送)	2011/03/08 ...
S... 厚生労働省:子宮頸がん予防ワクチン供給不足に対する当面の対応方針について	2011/03/08 ...
S... 新たに導入する後発医薬品の使用について	2011/03/11 ...
S... ヒブワクチン「アクトヒブ」の自主回収について	2011/03/11 ...
S... あすか製薬(株)の全製品の供給停止について	2011/03/16 ...
S... チラーヂン製剤の供給状況について	2011/03/18 ...
S... (株)ツムラの医療用漢方製剤の供給状況について	2011/03/22 ...
S... ヒブワクチン「アクトヒブ」の供給計画について	2011/03/25 ...
S... エンシュア缶入り製剤の供給不足について	2011/03/28 ...
S... 医薬品の長期処方自粛のお願い	2011/03/30 ...
S... 医薬品の長期処方自粛のお願い(第2報)	2011/03/31 ...
S... 医薬品の長期処方自粛のお願い(第3報)	2011/04/01 ...
S... 「チラーヂンS錠25」の院内在庫逼迫に対する臨時措置へのご協力をお願い	2011/04/22 ...
S... 医薬品の長期処方自粛のお願い(第4報)	2011/04/27 ...
S... 「エンシュア・H缶」の院内在庫消尽に伴う一時的処方オーダー停止へのご協力をお願い	2011/05/09 ...
S... 医薬品の長期処方自粛のお願い(第5報)	2011/05/27 ...
S... 「セファランチン注10mg」の供給再開に関するお知らせ	2011/06/22 ...
S... 「チラーヂンS錠25」の供給状況について	2011/06/24 ...
S... 「オクソラレン錠10mg」の供給再開に関するお知らせ	2011/07/12 ...
S... チラーヂンS製剤の供給状況について	2011/07/29 ...

別紙⑦

2010年度 医用工学センター研修一覧表

ID	日付	研修会場	研修種類	分類	対象ME機器	出席者	研修項目	主催
198	2010/4/23	GICU Bed12	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタXL)	臨床工学技士2名・看護師7名・医師1名	エビタXLについて(簡易操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について)	ドレーゲル
213	2010/5/29	手術室リカバリー室・カンファレンスルーム	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士4名・新人研修医20名	人工呼吸器基礎講習(従量式・従圧式・モード説明)	ドレーゲル
215	2010/6/5	GICUカンファレンスルーム	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器	臨床工学技士4名・新人研修医15名	人工呼吸器基礎講習(従量式・従圧式・モード説明)	研修センター・麻酔科教室
223	2010/6/11	大阪市立住まい情報センター3階	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺	臨床工学技士3名	人工心肺装置イブニングセミナー(特定機能病院における日常点検の実情・新型人工心肺の保守・点検、トラブル事例・討論会)	ソーリン
416	2010/8/3	MEセンター	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺	臨床工学技士5名	人工肺(クアドロックス仕様説明・構造・取扱い説明・安全使用について)	コスモテック
245	2010/8/21	神戸医療機器開発センター	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺	臨床工学技士1名	人工心肺装置に起因するトラブルシューティング・実技シュミレーション	(株)日本メドロン
244	2010/8/26	4N-ICU処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士5名・看護師9名	操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について	ドレーゲル・MEセンター
247	2010/9/7	9N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士3名・看護師5名	操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
248	2010/9/9	4N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	看護師5名	操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター

251	2010/9/22	11S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士2名・看護師12名	操作方法・喚起モード・アラーム対応、安全使用について	MEセンター
260	2010/10/14	7N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ULTLA)	研修医6名・看護師12名	マスクフィッティング・操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について	フクダライフテック 関西株式会社
256	2010/10/15	枚方病院13階講堂	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士3名・看護師56名	新人研修(操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について)	看護部・MEセンター
258	2010/10/18	枚方病院13階講堂	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士3名・看護師58名	新人研修(操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について)	看護部・MEセンター
259	2010/10/18	11S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(BIPAP VISION)	臨床工学技士2名・看護師4名	マスクフィッティング・操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
288	2010/11/18	血液浄化センター	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置(TW-P、TR-2000S)	臨床工学技士5名・看護師19名・医師1名	血液浄化装置取扱い説明(原理・モニタリング・操作方法・安全使用について)	血液浄化療法部
292	2010/11/25	4N-ICU	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置(TW-P、TR-2000S)	臨床工学技士2名・看護師14名	血液浄化装置取扱い説明(原理・モニタリング・操作方法・安全使用について)	血液浄化療法部・MEセンター
294	2010/11/26	(株)ソーリン・グループ 大阪営業所	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺	臨床工学技士4名	新規購入(S5)操作研修(人工心肺テクニック・安全使用の為の取り返し操作・質問会)	(株)ソーリン
295	2010/11/29	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置(JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士2名・GICU看護師13名・ICU看護師8名	血液浄化療法の基礎(原理・ヘモフィルター・モニタリング・アラーム対応・安全使用について)	血液浄化療法部・MEセンター
299	2010/12/13	CCU前室	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置(JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士2名・看護師7名	血液浄化療法の基礎(原理・ヘモフィルター・モニタリング・アラーム対応・安全使用について)	血液浄化療法部・MEセンター
301	2010/12/17	CCU	特定機能研修	③血液浄化装置	血液浄化装置(JUN-505、JUN-55X)	臨床工学技士5名・看護師8名・医師3名	血液浄化療法の基礎(原理・ヘモフィルター・モニタリング・アラーム対応・安全使用について)	血液浄化療法部・MEセンター

304	2011/1/6	9S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器 (BIPAP Syncro)	臨床工学技士2名・看護師8名	操作方法・喚起モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
310	2011/1/21	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺(PCPS)	臨床工学技士6名・看護師12名・実習生2名	経皮的な心肺補助装置(PCPS原理・管理・実際操作手順・安全使用について)	MEセンター・ TERUMO
312	2011/1/25	12S病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器 (BIPAP VISION)	臨床工学技士1名・看護師5名	マスクフィッティング・操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター
314	2011/1/28	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺(PCPS)	臨床工学技士4名・看護師11名	経皮的な心肺補助装置(PCPS原理・管理・実際操作手順・安全使用について)	MEセンター・ TERUMO
315	2011/1/31	GICUカンファレンス ルーム	特定機能研修	①人工心肺及び補助循環	人工心肺(PCPS)	臨床工学技士5名・看護師16名	経皮的な心肺補助装置(PCPS原理・管理・実際操作手順・安全使用について)	MEセンター・ TERUMO
331	2011/3/8	5N病棟分娩室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士1名・看護師17名	取扱い説明(操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について)	MEセンター
338	2011/3/8	内視鏡センター	特定機能研修	④除細動器(AED除く)	除細動器	臨床工学技士2名・看護師14名	除細動器講習会(原理・取扱い説明・物品説明・安全使用について)	MEセンター
334	2011/3/15	7S病棟ギプス室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	臨床工学技士2名・看護師10名	取扱い説明(操作方法・換気モード・アラーム対応・安全使用について)	MEセンター
337	2011/3/25	10N病棟処置室	特定機能研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(エビタ)	臨床工学技士1名・看護師10名	APRVについて取扱い説明・回路構成・換気モード・アラーム対応・安全使用について	MEセンター




平成22年度購入機器一覧

番号	購入年度	検収日	資産番号	部署(診療科)	品名	メーカー	規格	設置場所	数量	定価(税込)	研修	日時	出席者	研修項目	場所
1	22	6/16	2010-0014	手術部	タニケット	ジンマー	ATS3000	手術室	1	1,580,000	×		使用経験有り		
2	22	7/6	2010-0015	病理部	自動固定包埋装置	サクラファインテック	ティッシュテックVIP6	病理部	1	5,968,400	○	7/6	植田副技師長他3名	機器使用説明	病理検査室内
3	22	7/7	2010-0016	手術部	高・低体温維持装置	米国ゲイマーインダストリーズ社	メディサームⅢ	手術室	1	1,703,200	×		使用経験有り		
4	22	7/28	2010-0017	手術部	赤外観察システム	浜松ホトニクス:PDE	A-1	手術室	1	5,398,000	○	平成22年10/10	海堀Dr・岩田師長、三浦副師長他 看護師3名	機器使用説明	手術室内
5	22	8/12	2010-0018	病理部	顕微鏡	オリンパス	BX51N-54S	病理部	1	1,539,500	×		使用経験有り		
6	22	8/12	2010-0019	病理部	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパス	DP72-(S)SET	病理部	1	1,720,000	×		使用経験有り		
7	22	9/27	2010-0020	医療情報部	エターナス3000ディスク	ETERNUS	CA06800-E425	医療情報部	1	911,000	×		使用経験有り		
8	22	9/27	2010-0021	医療情報部	エターナス3000ディスク	ETERNUS	CA06800-E425	医療情報部	1	911,000	×		使用経験有り		
9	22	10/6	2010-0022	小児科	電動搾乳器	メデラ社	シンフォニー	NICU	1	380,000	×		使用経験有り		
10	22	10/6	2010-0023	小児科	電動搾乳器	メデラ社	シンフォニー	NICU	1	380,000	×		使用経験有り		
11	22	10/18	2010-0024	小児科	LED光線治療器ネオブルー	アトムメディカル	25423	NICU	1	880,000	×		使用経験有り		
12	22	10/18	2010-0025	小児科	LED光線治療器ネオブルーユージー	アトムメディカル	25426	NICU	1	780,000	×		使用経験有り		
13	22	12/21	2010-0026	胸部心臓血管外科	人工心臓装置(関西医科大学付属枚方病院仕様)	スタッカー社		手術室	1	122,248,000					
14	22	1/11	2010-0027	救急救命センター	酸素飽和度監視装置	ソマネティクス	INVOS	救急救命センター	1	4,980,000	○	平成23年4/8	北澤Dr・Dr他7名桜井師長、他 看護師9名	機器使用説明	救急救命センター
15	22	1/28	2010-0028	外科	フォーストライアド	タイコヘルスケア	エネルギープラットフォーム	手術室	1	5,800,000	○	平成23年1/28	竹花副師長、山口	機器使用説明	手術室内
16	22	2/4	2010-0029	救急救命センター	人工呼吸器	GEヘルスケア	エソグストローム	救急救命センター	1	9,826,300	×		使用経験有り		
17	22	2/4	2010-0030	救急救命センター	人工呼吸器	GEヘルスケア	エソグストローム	救急救命センター	1	9,826,300	×		使用経験有り		
18	22	2/4	2010-0031	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×		使用経験有り		
19	22	2/4	2010-0032	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×		使用経験有り		
20	22	2/4	2010-0033	医用工学センター	生体情報モニター用送信機	日本光電	ZS-930P	医用工学センター	1	540,000	×		使用経験有り		

別紙⑧

平成 22 年度 保守点検結果報告

関西医科大学附属枚方病院
医用工学センター

センター長	副センター長	医療機器安全管理責任者
		

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果

No.	薬事法による分類	一般名	部署	保有台数 (台)	点検回数/ 年(1台当り)	総点検 回数	実施者	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考					
								予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際		予定	実際			
								1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	手術室	1	1	1	メーカー、ME							1															
		IABP	GICU、CCU	3	1	3	メーカー、ME													3																	
		POPS	CCU	1	1	1	メーカー、ME													1																	
2	人工呼吸器	人工呼吸器	中央管理(MEセンター)	58	2	112	メーカー、ME				37	24		11	20	17		3		1				37	20		14	19	10			5		<未点検>EVT-4000 1台(使用中)、ベネット540 3台(使用中1台/修理中2台)、BIPAP Vision 1台(修理中)、ハミングV 1台(使用中)、VIP VIRD GOLD 1台(使用中)			
		搬送用呼吸器	初療、救急車、ドクターカー	5	1	5	メーカー、ME																5	5													
	呼吸補助器	呼吸補助器	NICU	8	1	8	メーカー、ME								8																						
3	血液浄化装置	人工透析装置	血液浄化センター、他	14	1	14	メーカー、ME																				14								14		
		持続的血液浄化装置	GICU、CCU、他	7	1	7	メーカー、ME																						7	2					3		
4	除細動装置	除細動装置	各部署	28	2	52	ME	28	28											26	18		8														
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	NICU、他	20	1	20	メーカー、ME																22	20													
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	放射線科(リニアック室)	2	4	8	メーカー			1	1	1			1		1						1	1	1			1		1	1	1	1				
合計				141		229		26	28	1	1	38	25	0	11	22	25	1	4	32	22	24	30	43	26	17	18	27	13	1	1	23					

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
 *各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	策手法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者		
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施
1	人工心臓装置及び補助循環装置	人工心臓装置	スタックートSⅢ	ソーリン	/	10S5235	中央手術室	1	1	1									1															メーカー ME			
		経皮的人工心臓装置	SP-101	テルモ	/	102008	中央手術室	1	1	1																											
		大動脈内バルーンポンプ	CS98	エドワーズ	/	S93268-K9	GICU																														
			CS98	エドワーズ	/	S807062-C3	CCU	3	1	3																											
			CS100	エドワーズ	/	SA04321-15	CCU																														

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者						
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施				
2	人工呼吸器	人工呼吸器	SABINA(S)	日本光電	ME-C001	ARWL0257	CCU・GICU・4N 4N-ICU・6N病棟 6S病棟・8S病棟 9S病棟・10N病棟	21	2	42																															
			SABINA(S)	日本光電	ME-C002	ARWL0103																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C003	ARWL0253																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C035	ARWL0234																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C036	ARWL0274																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C042	ARWL0275																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C044	ARWL0277																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C045	ARWL0278																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C046	ARWL0273																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C047	ARWL0153																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C048	ARWL0268																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C063	ARWE0071																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C064	ARWM0119																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C065	ARWL0255																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C066	ARWL0100																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C067	ARWL0101																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C069	ARWL0256																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C070	ARWL0235																																			
			SABINA(S)	日本光電	ME-C071	ARWL0102																																			
			SABINA(F)	日本光電	ME-C072	ARWL0254																																			
SABINA(F)	日本光電	ME-C073	ARWL0118																																						

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	業務法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者							
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施			
											2	人工呼吸器	人工呼吸器	EVT-4000	日本光電	ME-C004	ARWM0243	CCU-GICU・4N・ 4N-ICU・7N病棟	16	2	32																					
EVT-4000	日本光電	ME-C008	ARWM0149																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C037	ARWM2008																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C038	ARWM0350																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C039	ARWM0207																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C040	ARWM0240																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C041	ARWM0348																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C043	ARWM0241																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C050	ARWM0279																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C051	ARWM0242																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C052	ARWM0244																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C058	ARWM0203																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C057	ARWM0348																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C059	ARWM0205																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C059	ARWM0204																																							
EVT-4000	日本光電	ME-C088	ARWM0150																																							
ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C053	3510053673				GICU	3	2	6																												メーカー ME				
ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C054	3510053679																																							
ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C055	3510053674																																							
BIPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C007	120525				GICU	2	2	4																												メーカー ME				
BIPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C008	119011																																							
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C020	ARTF0043				NICU	5	2	10																													メーカー ME			
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C022	ARWL0083																																							
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C023	ARWL0082																																							
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C024	ARSF0047																																							
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C025	ARWL0082																																							
ハミングV	イワキ	ME-C012	V7625				NICU	3	2	6																													メーカー ME			
ハミングV	イワキ	ME-C017	V7305																																							
ハミングV	イワキ	ME-C026	V7385																																							

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	保守法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当たり)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者				
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施
2	呼吸補助器	呼吸補助器	インファントフロー	エアウオーター	ME-C014	08178	NICU	6	1	6																								メーカー ME					
			インファントフロー	エアウオーター	ME-C015	07808																																	
			インファントフロー	エアウオーター	ME-C016	08174																																	
			インファントフロー	エアウオーター	ME-C028	AFN01077																																	
			インファントフロー	エアウオーター	ME-C030	03434																																	
			インファントフロー	エアウオーター	ME-C031	03402																																	
	人工呼吸器	人工呼吸器	SIPAP	エアウオーター	ME-C075	AKN01589	NICU	2	2	4																								メーカー ME					
			SIPAP	エアウオーター	ME-C076	AKN01580																																	
			セクリスト	セクリスト	ME-C013	01582	NICU	2	2	4																										メーカー ME			
			セクリスト	セクリスト	ME-C019	14484																																	
			セクリスト	セクリスト	ME-C029	14531																																	
			ベアカブ750VS	IMI	ME-C027	53007108	NICU																												メーカー ME				
			ベアカブ750VS	IMI	ME-C074	53005743																																	
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C032	AFM01240	SE	3	2	6																										メーカー ME			
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C033	AFM01223																																	
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C034	AFM01221																																	
	搬送用呼吸器	搬送用呼吸器	バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C080	0509324	初健室 4N-ICU	5	1	5																								メーカー ME					
			バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C061	0510331																																	
			バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C062	0509323																																	
			バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C077	0709199																																	
			Oxylog 2000	ドレーゲル	ME-C078	SRWJ-0003																																	

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者								
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施				
3	血液浄化装置	血液浄化装置	TR-3000M	東レメディカル	ME-H001	B5H063	人工透析室	21	1	21																										メーカー ME							
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H002	B5H073																																					
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H003	B5H074																																					
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H004	B5H075																																					
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H005	B5H076																																					
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H006	B5H077																																					
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H007	B5H078																																					
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H008	A23C11																																					
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H009	A14C27																																					
			TR-7000M	東レメディカル	ME-H014	A5XA18																																					
			JUN-505	ウベ森研	ME-H017	UA145	4N-ICU																																				
			JUN-505	ウベ森研	ME-H018	UA144																																					
			JUN-505	ウベ森研	ME-H019	UA143																																					
			JUN-505	ウベ森研	ME-H020	UA147																																					
			JUN-50X	ウベ森研	ME-H029	UC085	GICU																																				
			JUN-505	ウベ森研	ME-H021	UA146	CCU																																				
			JUN-505	ウベ森研	ME-H022	UA160																																					
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H023	95C08	GICU																																				
			TR-7000S	東レメディカル	ME-H025	A59B05	TR-7000S																																				
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H026	A14C28	TR-2000S																																				
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H028	95C07	MEセンター																																				

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	派生法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保守台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者								
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施						
4	除細動装置	除細動装置	TEC-7731	日本光電	ME-F002	00076	CCU-GICU-4N 4N-ICU-6N病棟 6S病棟・6S病棟 9S病棟・10N病棟	26	2	62	26	26																							メーカー ME								
			TEC-6100	日本光電	ME-F003	04399																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F004	00113																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F005	00123																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F006	00127																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F007	00112																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F008	00126																																					
			TEC-2312	日本光電	ME-F009	10170																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F010	00077																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F011	00124																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F012	04390																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F013	04398																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F014	00022																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F015	00037																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F016	04402																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F017	00004																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F018	0014																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F019	04395																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F020	04400																																					
			TEC-7511	日本光電	ME-F024	01047																																					
			TEC-7531	日本光電	ME-F025	00910																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F026	00128																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F027	04401																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F028	00125																																					
			TEC-7531	日本光電	ME-F029	01370																																					
			TEC-2312	日本光電	ME-F030	10271																																					

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(機器別)

No.	保守法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	設置部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者					
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施	
											5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L001	15Z5585	NICU・5N病棟	22	1	22																			
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L002	15Z5586																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L003	15Z5591																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L004	15Z5587																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L005	15Z5590																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L006	15Z5594																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L007	15Y7019																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L008	15Y7018																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L009	15Z5582																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L010	15Z5589																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L011	15Z5593																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L012	100127620010007																								22	20									
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L013	143815																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L014	100127620010006																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L015	7052807																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L016	711411																																		
			V-2200C 21455	アトムメディカル	ME-L017	15Z5588																																		
			V-808 21955	アトムメディカル	ME-L018	1628808																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L019	1050813																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L020	100127620010008																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L021	1343814																																		
			V-808 21955	アトムメディカル	ME-L022																																			
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	Clinac 21EX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8																														
			Clinac 21EX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8																														
合計								144	35	241	28	28	1	1	38	28	0	11	21	25	1	4	32	22	24	30	43	28	17	16	27	13	1	23						

* 毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
 * 新規購入機器の点検日数は変更することがあります。
 * 各部署、メーカーと日程に因りて打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成22年度保守点検結果(その他)

No.	薬事法による分類	一般名	部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	実施者	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考		
								予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際		予定	実際
1	麻酔器並びに麻酔器用呼吸装置及びガス吸引管のうち、麻酔器	麻酔器	手術室、他	21	2	42	ME					21			17					20				21										
2	電気手術器	電気メス	手術室	22	2	44	ME						22			21										22						20	Force FX-C2台は修理中 3月の点検実際20台の内、18台は4月に実施済。	
3	輸液ポンプ	輸液ポンプ	中央管理(MEセンター)	296	2	592	ME						70	296	129	50			3		10					113	296	78		59	8	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年		
4	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	26	3	78	ME			25	22		2													4	25	8						
5	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	307	2	614	ME						162	294	51	85											134	294	89		45	11	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年	
6	開放式保育器	インファントウォーマー	NICU、他	8	通時	通時	ME																											
7	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室		1	1	メーカー																											
8	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室以外		1	1	メーカー																											
9	生体情報モニタ	生体情報モニタ	各部署		通時	通時	ME																											
合計				880		1372		0	0	25	22	21	234	612	189	0	128	25	38	0	38	0	0	21	26	637	174	0	101	0	29			

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
 *輸液ポンプ・シリンジポンプは、代替と交換しながら点検を行います。
 *新規購入機器の点検日程は変更することがあります。
 *各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。